

サービスの計測に関する検討会（第3回）議事概要

1 日時 平成22年11月10日（水） 14:00～15:30

2 場所 総務省第2庁舎 6階特別会議室

3 出席者

構成員：総務省統計局，総務省政策統括官，文部科学省，厚生労働省，経済産業省，日本銀行

研究発表者：内閣府

調査研究受託者：株式会社インテージ

4 議事

(1) 「サービスの計測に対する需要調査研究」について

(2) 各府省の研究発表 ー内閣府ー

(3) その他

5 議事の概要

(1) 事務局からサービスの計測に対する需要調査研究の概要及び今後のスケジュールについて説明が行われた後，株式会社インテージから調査研究の具体的な実施方法について説明が行われた。その後，意見交換が行われ，報告者の職業について最も関係が深いサービス産業は何かという質問等の選択肢のうち，「複合サービス事業」，「サービス業（他に分類されないもの）」等の表記は一般国民には分かりづらいのではないかなど意見が出されたが，実施方法等について変更すべきといった意見は特段なかった。

(2) 内閣府から「非市場型サービス産業のアウトプット計測に関する研究のサーベイ」について研究成果の説明が行われた。主な説明内容は以下のとおり。

○医療：アウトプット（患者数，救急車，処方箋等）を，そのコストでウェイト付けした指数の作成や，また，疾病レベルでの医療の質を計測する研究が行われている。

○教育：質の調整を行ったアウトプット指数の作成については，到達度テストの平均点の伸びを利用するものや，生徒／教員比率等を考慮したものが研究されている。

○金融：金融仲介活動のアウトプットを捉える FISIM（間接的に計測される金融仲介サービス）の概念については，参照利率の考え方や実質化，リスクの扱い等の論点がある。

(3) その他

次回開催は，平成23年1月頃の予定。後日，メールにて連絡。

<文責：総務省政策統括官（統計基準担当）付統計審査官室
（速報のため，今後，修正の可能性あり）>